

# Library News



大山崎中学校図書室

令和7年 4月

入学・進級

おめでとうございます！

今年の春休みは暑い日もあれば、寒い日もあり、また一日の寒暖の差が激しく、体調を整えるのが難しかったですが、ようやく落ち着いてきましたね。皆さんも、新しいクラスに慣れて、落ち着いてきましたか？  
図書室は15日から、昼休みと放課後、開館します。今年度もみなさんと一緒に居心地の良い図書室を作っていきます。

4/15  
Open!

## 大山崎中学校図書館 貸出規則

- ・開館日時  
火曜 水曜 木曜  
昼休み  
放課後～4時まで
- ・貸出冊数  
一人2冊
- ・貸出期間  
1週間



## 新一年生におすすめの本

私立のお嬢様小学校から公立の中学校へ入学した美貴は前の学校のことが忘れられない。特に給食は断然私立の時の方がおいしかったせいで食べる気がしない。心にモヤモヤを抱える6人の中学生たちの給食にまつわる6つのお話。

『給食アンサンブル』



中学校に入学する前の春休み、つばさは今まであまり話したことのなかった同級生の男子と親しくなります。小学校の時と全然違う服装でおしゃれ好きな彼をまぶしく思うつばさは……

『世界は「」を秘めている』

私立の有名中学に進学した皓(こう)。でも、中学では成績はパツとしない。学校生活も代わり映えがしない毎日だ。そんな皓の気晴らしは自宅の屋根根に上ること。ちょうど身体がおさまるスペースがあって、寝っころがると気持ちがいい。ぼくだけの特別な場所。

『屋根に上る』

ぼくは4月から視覚支援学校中学部の寮に入ることになった。でも一緒に行くはずだった幼なじみの双葉は・・・主人公の佑は目が見えない中学1年生。新しい学校で新しい先生と出会うみんなと同じ新入生です。視覚障害者がどんな風に世界を感じとっていくのか、とても新鮮な驚きに満ちた本です。

『手で見えるぼくの世界』

新一年生が主人公だよ！



## 新着本から

図書委員会アンケートで人気の高かった恋の話と怖い話。どうぞお楽しみください。

『すべての恋が終わるとしても』

140字のさよならの話』 冬野夜空



『怖い怪談』

松原 タニシ

## 司書のひとりごと 昨日の本棚から

『十七回目の世界』 折小野 和広

第三回京都文学賞優秀賞受賞の本作はなんと大山崎町が舞台！これは読まないわけにはいかない、ということで読みました。1984年11月17日、大山崎町を激しい揺れが襲います。そしてその日を境に誰も大山崎町から出られず、また大山崎町に入った人は戻って来られません。そんな中、主人公の尾上は町内にいるであろう弟を探しに第17回調査団に加わり、町内に入っていきますが…というSFのような不思議な話です。風景や地名がおなじみの町内のものであぁ、あそこかな、ちょっと変えてるな、などと、本筋以外の感想が脳内にあふれます。作者は大山崎在住の方で、本にサインを下さいました。

